

本年度の重点活動は、①研究部会・研究会活動等の再編成と効果的な運営②セミナー、国際シンポジウム、公開講座の実施③内外の関係機関との連携の強化④情報の提供、対外PR活動の強化⑤個別企業支援活動の実施⑥事務局体制整備と人材の拡充など。

三五
ニュース
インサイド

経営倫理実践研究センター(BERC)は水谷雅一会長の二〇〇五年度活動方針が決まり、四月以降各活動がスタートした。センター設立以来7年が経過し、会員数は84社に達した。経営倫理の定着化に向けて実践的な活動を展開している。

HPなど広報体制、強化

度針 年方 05活動

関西研究部会スタート

BEO昼食懇話会も発足

A、CSRヨーロッパなどの関係諸機関との連携を強化。中国、韓国のビジネス倫理動向の情報も流す。また、ホームページ、BERC

Cニュース等のPR強化、会員企業の入会勧誘活動を行なう。また、BEOは企業発展のキーマンであり、経営上の重要人物という認識

ト「教育の啓発・研究ツール」「公益通報者保護法対応研究会」などのテーマが候補となっている。

新しい講師陣は、以下の通り。
▽監査研究部会=岡部幸徳(BERC専任講師)

▽関西研究部会=剣持浩

(BERC専任講師)。なお、倫理プログラム研究部会では、毎回、前半をBERC講師が担当、後半を会員企業BEO(経営倫理担当最高責任者)に講師出稿を依頼する予定。

本年度の重点活動のもう一つは対外活動の強化。まず、日本経団連や米国EO



BERC 2005年度活動方針の会員説明会
(東京・南青山会館で)

湘南国際村

CSRセミナーを予定

国際シンポジウムは、今年で第8回目。毎年BER

から、本年度より会員企業のBEO同士の情報交換の場を提供する昼食懇話会が海外からゲストを迎えて、経営倫理の世界的動向や課題についてパネルディスカッションが行われる。さらに「国際シンポジウム」につづく大型事業として、公開型のセミナー」を9月30日、10月1日に湘南国際村(神奈川県)で開催の予定。

研究部会、研究会の効果的な運営はかかる 会員へ活動方針説明

BERCの2005年度会員説明会(オリエン

テーション)が3月14日、東京・南青山会館で開かれた。

説明会では、①05年度活動方針、重点活動と実施項目②研究部会、研究会等の運営とカリキュラムの概要③研究部会、研究会の開催要領と運営ルール④BEO昼食懇話会の実施⑤セミナー、シンポジウム、講座の運営――などについて説明があった。

経営が破綻した企業はたいてい粉飾決算に手を染めている。産業再生機構の支援を受けて経営再建中のカネボウもその例に漏れない。同社の調査では、二〇〇四年三月期までの五年間だけで粉飾の総額は二千百五十億円に上る。

九六年三月期から〇四年三月期まで九期続けて債務超過だったことも明らかになつた。粉飾があつたことは驚くに当たらないが、同社の特徴は相当長期にわた

り、繊維部門にとじまらずほとんどの全社的に行なわれた点である。

これだけ広範で悪質な粉飾になると、トップ経営者層の関与や教唆が疑われる。監査法人の監査は果たされ、BERCの主任研究

員、専任講師、フェロー等の材質がサポートする。研究部会は、これまでの「倫理プログラム研究」「監査研究」「ケース研究」「CSR研究」に加え、新たに隔月に開催される「関西研究部会」が設けられた。それぞれBERCの主任研究

員から、関係者の間でささやかれていた。金額は「二千億円」とも「四千億円」とも言われ、巨額の損失隠しが再建の障害になると見方が専らだった。

同社の吉高信・執行役専門家では、「リスクマネジメント」が実現され、不正な処理を拒否して左遷されたことがある」と語った。

過去にさかのばれば、石油ショック後の合纏不況のころ、合纏部門で在庫の「宇宙遊泳」が行われていると見方がある。過剰在庫を一時的に商社に持た

て、監査法人の監査は果たされ、いわゆる飛ばしを「宇宙遊泳」と呼んでいた。その真偽は定かではないが、同社の粉飾はかなり根深い。麻薬のようなもので、一度手を出すとなかなか

不正広がり倫理観マヒ

業務は、「債務超過に伴う信用収縮を避けたかったのだろ」と、旧経営陣の動機を推測している。ある幹部は、「以前からあった。二〇〇三年に花王に化粧品部門を売却する話が持ち上がった。上層部から怒られた。私も

までかなり多数に上るもの

か止められなくなる。ウソを隠すためにウソを重ねざるを得なくなるからだ。

長期に及ぶと、上司から部下に不正が引き継がれ、共犯関係が広がっていく。互いに発覚を恐れ、自浄作用を期待するのは絶望的になる。カネボウはまさにこの状態だった。

旧悪を清算するために同社は旧経営陣の責任を民事、刑事の両面から追及する方針である。これに九八年から〇四年春まで社長だった帆足隆氏は二〇〇四年十一月八日号の「日経ビジネス」で、「過去からずっと変な仕組みがあつた」、「なぜ僕だけ責められなきゃいけないので」などと不満をぶちまけている。

BERC新入会員社の紹介

①企業名②資本金③代表取締役④総員数⑤最高責任者⑥従業員数

△①テクノバ②1・6億円③赤司達④吉田元治(専務取締役)⑤22名⑥室長⑦1242名⑧9・5億円⑨和田紀夫⑩同上⑪3056名

△①旭化成ライフ&リビング②30億円③能村義廣④宮田宏通(CSR室)

「稻むらの火」上演が話題に

人形劇で地域と共生

どうして企業は数字をこまかすのか。このところ工場排水やディーゼル車規制に対するデータ数字の改ざん、ねつ造が続いた。施設



人形劇プロジェクト「稻むらの火」制作委員会

スマトラ沖の大津波で、にわかに注目されはじめた防災人形劇「稻むらの火」

この時は約百名の社員ボランティアも参加、同ホールのある名古屋ビル内の会議室等も開放、子供たちの観客で会場は、溢れかえる。損保ジャパンでは、社会貢献活動の方針に美術、環境、福祉という三つの重点分野を設けている。同社の社屋に文化活動に資する施設を設置し、社会貢献を担うことを目指している。新宿の本社ビルには美術館があり、名古屋ビルには、人

損保ジャパン

人形劇を通して、地域での社会貢献活動を続け十五年…。損保ジャパンの人形劇場「ひまわりホール」が注目されている。

ひまわりホールは、一九八九年、同社名古屋ビル内に設立され、116人収容、年間の稼働日数は三百日を超える。毎秋、人形劇の祭典「パペット（人形）フェスティバル」を二日間連続で開催している。

どうして企業は数字をこまかすのか。このところ工場排水やディーゼル車規制に対するデータ数字の改ざん、ねつ造が続いた。施設

千葉県の堂本暁子知事は、記者出身といつもあり公害問題については厳しい姿勢で臨んでいる。この千葉県で、鉄鋼メーカーの最

大手のJFEと昭和電工が工場排水のデータを書き換えて事実と違う数字を出していた。

JFE千葉工場では○

ア、約百五十の人形劇団が結集している。ひまわりホールを活動拠点とし、①人形劇公演やワークショップの企画制作②人形劇情報誌月刊「あっぷ」の発行③脚本賞の公募と入選作品の上演④福祉施設への出前公演「パペット・キヤラバン」などを行っている。

一方、世界中を震撼させたスマトラ沖地震による津波被害が世界中で関心を集めている。同社が応援する防災人形劇が、いま関係者から注目されている。演題は有名な「稻むらの火」。

JR宝塚線・快速電車の脱線事故は死者百七人に上り、列車事故としては最大級の惨事となつた。朝の通勤、通学の人々が一瞬にして命を絶たれた無念は、残った家族の悲しみ、悔しさと共に想像に余りある。

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

9

</div

